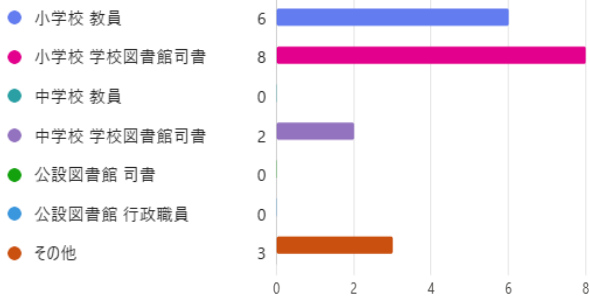
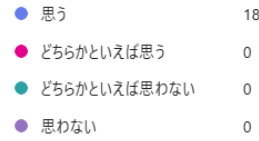


南市岡小学校「図書館教育」公開研修会・講演会参加者アンケート結果(2026年6月24日)

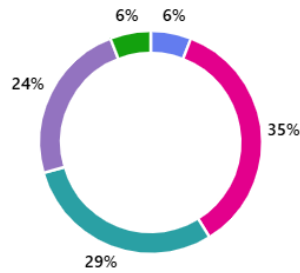
1. 参加された方の校種、職種等をお答えください。



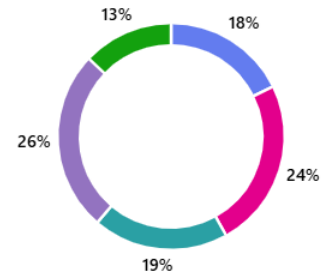
6. 本日の公開研修会で得た知識や気づきは、今後の実践に活かすことができそうですか。



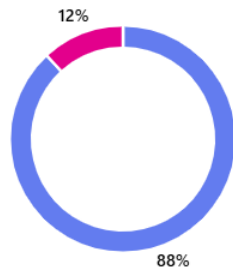
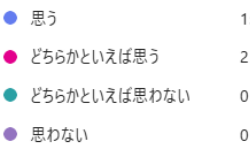
3. 在職年数をお答えください。



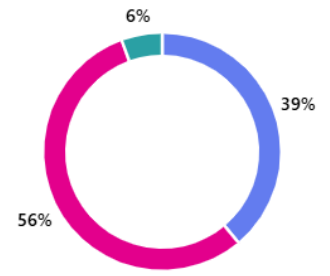
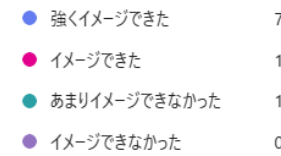
7. 本日の公開研修会でよかったと思われる内容を全てお選びください。



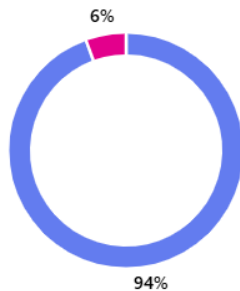
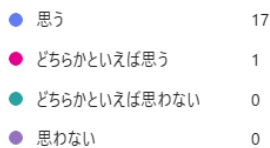
4. 本日の公開研修会での説明や資料、講演はわかりやすいものでしたか。



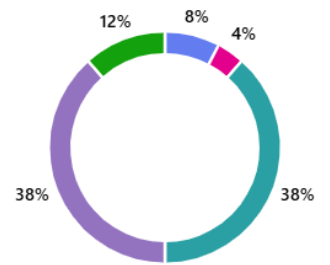
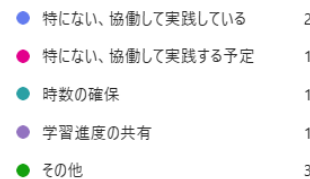
8. 研修をうけて明日から取り組みたいことがイメージできましたか。



5. 本日の公開研修会で、自分の知識を深めたり、新たな発見をしたりしましたか。



9. 学校司書と教員が学習支援するために必要だと思うことは何だと思いますか。



10. 本日の公開研修会の感想をお書きください。

13回答者 (76%) この質問に 思い回答しました。



1	小教員	ワークショップに参加できたことが本当に良かったです。他の学校の先生や学校司書さんとゆっくりお話できる機会が初めてだったので、嬉しかったです。
2	中司書	自分自身がまだ経験が浅いため、これから自分にできることを考えていきたい。そして限界があると思うため、図書館司書の先生と連携しながら、学校図書の利用を進めていきたい。

3	小教員	今日は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。本校は週2日司書さんに勤務いただいています が、自校の司書さん以外とお話することがないので、教員にどんなことを求められているのか、どのよ うな活用の仕方があるのかなど伺うことができ大変勉強になりました。次、自校の司書さんが 出勤されたら、腹を割ってコミュニケーションを取り、お互いが協力し合いながら学びの環境の充実を目 指していけるようにしたいと思いました。講演の資料や伊勢市のホームページはすぐにでも取り入れら れそうなことがたくさんありましたので、参考にさせていただきたいと思います。
4	小司書	ありがとうございました。関連図書を置いといたりすることから、少しでも司書のできることを知ってもら い、先生一人ひとりのやってみたいことを知りたいです。そして、連携を取って学校図書館が学習や心を 育てる場になればと思います。 自分のやることが何を目的に、どんな風がいい影響があるか、足りないことはどこか確認したい。 中林先生や、同じ G グループの新田先生(お名前あってますか?)が二年前に伺ったときよりめっちゃパ ワーアップされているように感じ、刺激をいただきました！ 同じ G グループの森本先生の視点が鋭くて、大切だなと感じることが多くて私はとても参考になりまし た。児童の興味や感心に近づけること、何ができるのかを共有することなどやってみたい。辻先生にワ ークシートの見本をもらったので、調べるための本の特徴を知ってもらえるような仕掛けをしたい。
5	小司書	研修会・講演会、また今年も刺激とガッツを頂きました。ありがとうございます。 資料の授業支援のページなんて、そのまま参考にさせてもらおう、と思っています。詳細な記録、参考に なります。 ワークショップでは、新田先生や他の皆様とお話できて楽しかったです。 宮澤先生のお話は本当に、いつもいつも背中をどやされる感じで、目からウロコが落ちまくりで新しい世 界を見ているような錯覚を覚えます。まさに宮澤マジック。 日々の業務で忘れがちなこと、肝に銘じて仕事に、子どもたちに向かい合っていこうと思いました。 宮澤先生の、学校図書館の仕事は子どもたちが情報を使えるようにすることだ、ということをちゃんと頭 に置いて明日から頑張ります。
6	小中司書	ありがとうございました。 学年だよりを学校司書にも配付依頼して教科書に添った読み聞かせのテーマを選びたいと思います。 教育情報利用パソコンが使えない。 ネット環境が整っていない。先生との打ち合わせの時間がとれない。 伊勢市の週3日勤務がうらやましいです。 週 1 日だけの勤務ではなく、子どもが学校にいる時間は、「いつでも図書館にどうぞ」と言える日がきま すようにと願っています。
7	その他	本日は大事な研修の場に参加させていただきありがとうございました。参加されていた皆さまの熱量の 高さが伝わってきてとても嬉しかったです。南市岡小で積み上げてこられた素敵な取り組みが大阪 市全体に広がりますように。 仕事で参加を断念された先生、学校司書もたくさんいらっしやると思います。是非夏休みなどにも開催し ていただけたらと思います。 研修後にお渡しした会報「みちしるべ」お忙しいとは思いますが、目を通していただければ幸いです。学 校現場から、これは違うのでは？ということなどを含めてご意見等がありましたら、伺える機会があれば 嬉しいです。 ありがとうございました。
8	その他	これまでの 2 年間の図書館研修会と違って、ワークショップがあったことに驚きましたが、他の学校でど んな取り組みがされているかを知ることができ、勉強になりました。 教員と学校司書が相互に期待することは、お互いに、相手の方が忙しいだろうと思って、希望があつて も、なかなか言い出せなかったり、遠慮があつたりしますが、勇気を出して、思い切って話してみると、距 離も縮まって良いのかなと、思いました。 指導助言では、先生方と学校司書、両方に向けた助言をいただけたのが、お互いの方向性を知ること ができ、良かったと思いました。 講演は、短い時間で、凝縮した内容でしたが、伊勢市では、司書の勤務日数が増えたり、図書館向けの サイトができたりと、進化の度合いが目覚ましくて圧倒されました。 質疑応答での質問も、分からないのは自分だけかもしれないと思っていましたが、ちょうど、ご質問して いただけたので、解説を聞くことができ、良かったです。
9	小教員	様々な実践をお聞きすることができ、勉強になりました。ありがとうございました。
10	小教員	主幹司書の方とお話できて良かったです。主幹司書でない学校司書の方とも交流を深められるといいな と思います。
11	小司書	教員と本音で話し合うことができ、協働していくためのヒントをいくつか発見できました。学校図書館が授 業支援の場として役立つよう、また、豊かな言語活動を支える場となるよう、努力を重ねていきたいと思 います。

12	小司書	田村先生の図書館は児童が主体的に取り組むことができる場所という言葉に、すごく納得しました。これからも頑張ろうと思いました。宮澤先生の作成された伊勢市のポータルサイトも活用させていただきませう。宮澤先生のお話が大好きです。貴重な機会をつくってください、本当にありがとうございました。”
13	小司書	実践報告の時間が短かったので、もう少しお聞きしたかったです。先生方と学校司書のそれぞれの視点での意見交流ができたのがよかったです。田村先生のお話での「言葉の力を伸ばす→心を育てる→学力に結びつく」ということを常に意識しながら学校司書として出来ることを実践していきたいと思いました。実践報告、講演も勉強になりました。ありがとうございました。
14	小教員	図書館は本をたくさん読むところというより、子どもたちに情報をたくさん与えるところだという言葉が新たな知見として心に残りました。学ばせていただきありがとうございました。
15	小司書	学校図書館では、教員と学校司書がコミュニケーションをとり情報交換をすることで、授業支援の質をあげることができると感じました。先生方の思いに繋がる支援が出来るように努力したいと思います。
16	小司書	南市岡小学校の実践内容を教えてもらい、とても参考になりました。1 つでもマネをして自分の学校でも取り入れたいと思いました。少しずつでも近づけていこうと思います。宮澤さんの講演は、とても具体的で分かりやすく、深く頷けました。研修会に参加して、宮澤さんや辻さんが楽しそうに仕事に取り組まれているのが分かりとてもいいなと感じました。明るく前向きで、どんなことでも解決してくれそう！という雰囲気がとても頼もしく感じました。取り組み内容を学ぶ事もとても勉強になりましたが、そのマインド!?を見習いたいと1番強く思いました。私は現在の勤務校は2年目になり、先生方ともコミュニケーションがとりやすくなってきたので、去年出来なかったことを1つでも多く取り入れたいと思います。”
17	その他	南市岡小学校の研修会への参加も三度目になります。参加させていただき、ありがとうございました。こちらに来させていただく前は、学校図書館が授業で利用される光景は実際に見たことがなく、本やネット上で実践報告のようなものを読んだり少し講演会で聞いたことがあるだけだったのですが、一昨年昨年と実際に授業の様子を目の当たりにでき、そしてさらにそれらが年々進展していていることがまさに光のようです。ワークショップは、日頃先生方とゆっくりお話する機会はないので、いろいろと参考になりました。テーマについては各々の立場で動きは異なりますが、それぞれに視野が広がる内容だったのではと感じました。またいろいろな場所でそのような機会があるとよいなと思いました。週4日の主幹学校司書さんが勤務されている学校と週1日しか勤務されていない学校、また校長先生や先生方が図書館を活用したいという意識が高い学校と、先生方と学校司書の対話や連絡が少ない学校とで、どうしても図書館の整備状況や利用できる回数や内容、読書冊数に差が生じており、格差が広がっていることをまざまざと感じました。木村校長先生が言葉の力を伸ばすために国語・図書館教育を取り入れ、学校全体で言葉の力を通して子どもたちの心を育てることにリーダーシップをとられてきたことが、次々によい循環を生んでいるように思いました。田村先生と宮澤先生も、毎年示唆に富んだお話をありがとうございます。言葉の力は生きていく上で強固な基盤となりますが、毎日慌ただしくデジタル情報があふれている今日では意識して工夫して過ごさないと案外磨くことができないものだと感じます。そのような中で、学校の授業を通してまた学校図書館を活用して多くの本を読ませる工夫をすることで、さほど難しい取り組みをすることがなくてもある程度は非認知能力を伸ばすことができるのだと思いました。若い頃に大学図書館で司書をしていた者としては、学校での「授業支援」は先生方との綿密な打ち合わせが必要そうでハードルがとても高い印象でした。田村先生のお話から研究授業の支援が協働していくためのツールになること、宮澤先生のお話から読み聞かせや授業に関連する資料を様々な想定をしながら準備することが多様な形で教育に生きていくこと、が大きな気づきでした。また、学校司書の仕事の奥深さを感じ、学校司書の方々が複数校の勤務で翻弄されることなく、1校の図書館運営と教育に腰を落ち着けて携わることのできる勤務形態になってほしい、とあらためて思いました。中学生になり授業が理解できない、もう話を聞きたくもないと感じている？子ども達が多くいて授業が成立しない、日々トラブルの対応に追われているような他校の状況も知る立場として市にお願いしたいこととしては、やはり市内の全学校(まず特に小学校?)で学校司書の配置日数を増やし、先生方が時間や手間をあまりかけることなく、上記のような教育をできる機会を増やしてほしいと切実に思います。小学校でしっかりと学ぶ力をつけられれば中学生になってからもさらに力を伸ばすことができますが、中学生は個人差も大きく、既に強い劣等感を感じている可能性もあり、それを覆すのはなかなか難しそうです。そのような子ども達こそサポートできる体制があることを期待したいですが…特に低学年のうちにはタブレットなどの電子機器の利用を進めることは程々に、これまで人がずっとやってきた「聞く・話す・読む・書く」ことをじっくりと学べるのが大切だと感じます。市内のどの学校でも、安心できる環境で言葉の力を伸ばし、自尊心を持ち他者も尊重できる子どもたちが豊かに学んでいける環境を整えていただきたい、と心から思います。よろしければまたお話を聴かせていただいたり、研修会に参加させていただいたりすると有難いです。本当にありがとうございました。